



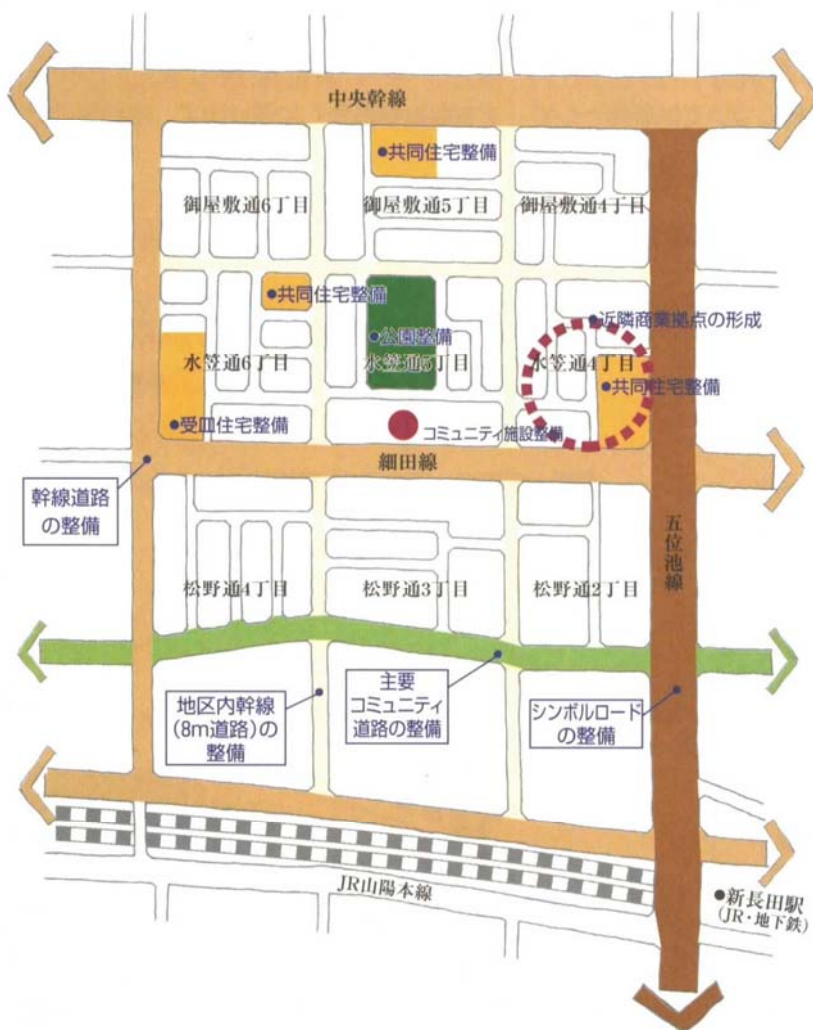
# このまちみんながすきになりたい!

新長田駅北・西地区は阪神・淡路大震災で甚大な被害を受け、復興土地区画整理事業による基盤整備がすすめられています。

このまちには、震災前にはいろいろな人が助け合い、支え合う、人情厚いコミュニティがありました。また、地域に根ざした産業があり、いろいろな商売や生活の便利さがそろっていて、住まいと職場が共存する人間らしい表情のまちなみがありました。

そんな下町の良さを新しい時代流に再生させ、創造する新下町づくりがまちづくりの目標であり、めざすまちづくりのイメージを「新しい時代に生きる新下町づくり」と掲げています。

まちなみ・まちづくりにとりくむことによって、新長田の新しい地域イメージを創り出し、ここに住む人たちが誇りと愛着を持って住み続けるとともに、若い人たちも戻ってくる、そしてそれが豊かなコミュニティの再生につながることをめざしています。



## 新長田駅北・西地区のまちなみ・まちづくり

# みんなで作るまちなみ



印

象的で季節感のある花と草木のイメージを表現

美

しつ個性あるまちなみ

文

個性とシンボル性のある築こすまちなみ



### 新しい時代に生きる 新下町づくり

新長田駅北・西地区では、復興土地区画整理事業によって道路や公園などの基盤整備がすすめられている中で、景観形成市民協定を締結して、まちなみ、まちづくりにとりにくんでいます。建物を建てる場合は、まちなみのルールに沿って建てることで、よりよいまちなみをつくり出しましょう。

新長田駅北・西地区まちなみ委員会

御屋敷通4丁目まちづくり協議会 御屋敷通5丁目まちづくり協議会 御屋敷通6丁目まちづくり協議会 水四まちづくり協議会 水5まちづくり協議会 水笠6丁目まちづくり協議会 松野通2丁目まちづくり協議会 松野通3丁目まちづくり協議会 松野通4丁目まちづくり協議会



# まちなみ・まちづくりのルールのポイント

●戸建住宅の場合は次のことがポイントです。

1 道路に面した敷地には、花や緑をとり入れましょう。



2 道路に面した敷地の舗装は、近隣で統一・調和したデザインにしましょう。



(道路に面して塀・柵・門を設けない。ただし、生垣等と見通しのきくフェンスや柵、60cm以下の塀、門の組み合わせは可)

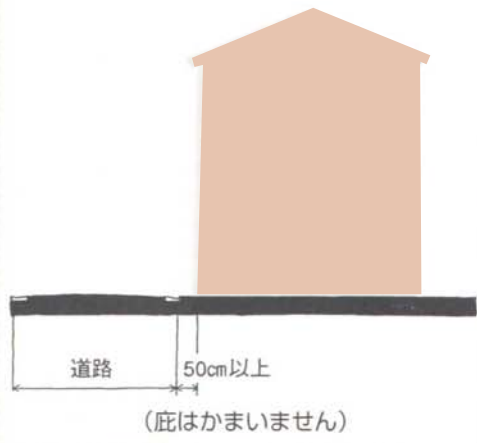
3 道路からみえる敷地や出窓、バルコニーなどには花の咲く木やフラワーポットを置きましょう。



4 植栽や舗装と一体で整備する門、門灯、ポスト等を調和するデザインのものにしましょう。



5 建物は道路から50cm以上後退させて建てましょう。



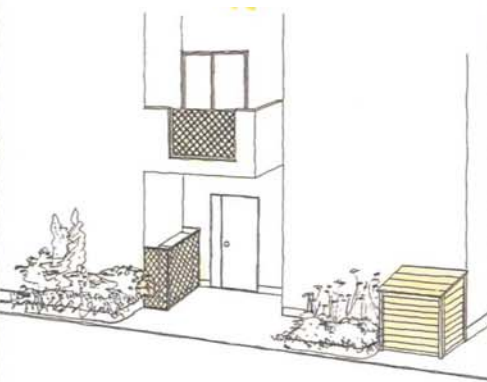
6 傾斜屋根をつけて、屋根の色は黒・濃い灰色・濃い茶色など濃い色で調和させましょう。



7 壁は明るく親しみやすい色にしましょう。



8 空調の屋外機などの設備機器は道路から直接見えにくい置き方をしましょう。



●通り沿いの1階店舗や事業所などでは次の事に配慮しましょう。

9 張出テント、看板等は近隣で調和するデザインのものにしましょう。



10 店の表は夜でも内側が見えるように、透明ガラスとシースルーシャッターにしましょう。



11 ネオンサインはけばけばしくならないようにしましょう。



●大規模な建物はまちなみに与える影響が大きいことから、特にデザインに配慮しましょう。

■規模にかかわらず建物を建設するときは「まちなみ委員会」に届出のうえ、委員会の承認を受けてください。

●その他、より住みよく、魅力あるまちなみにするために、できそうなことを考えていきましょう。

12 高齢者等への配慮をしましょう

- 道路と地盤面の高さが同じでない場合、スロープまたは緩い勾配の階段で出入りできるようにしましょう。
- 出入口・階段部分の有効幅員はできる限り80cm以上にしましょう。
- 足もとが暗がりにならないよう、照明をつけましょう。
- 水に濡れても滑りにくい床材を使用しましょう。

13 広告物などはまちなみに調和するよう控えめにしましょう

- 広告物の規模・色彩等は、まちなみをそこなわないものにしましょう。
- 屋上広告は、できるだけ設置しないようにしましょう。

14 地域の記念施設の復元、創出



井戸、地蔵、レンガ道、歴史的建物のメモリアル保存など

15 アート、アメニティ施設



登り旗、連続フラッグ、モニュメントなど